

枚方市立図書館第2次グランドビジョンの進捗状況一覧（平成25年度）

(進捗状況評価凡例 平成27年度末までの取組内容を踏まえた平成25年度の進捗状況  
◎：達成 ○：順調に進捗 △：進捗がやや遅れている ×：未着手)

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向	平成27年度末までの取組内容	平成25年度の実績	進捗状況の評価	平成26年度の取組予定(継続的な取組は除く)
1 市民の生涯学習を支援する図書館をめざします	1-1	図書館利用者層の拡大	① 利用者の年齢層にも配慮した図書館活動や広報活動の推進によって、実利用者率(★注1) 25%をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年齢層を意識したおはなし会や各種行事の実施及び活字やホームページ等を用いた広報活動の実施により利用促進を図る。</li> <li>中学生への利用促進のための取組を行う。</li> <li>開架フロアでの積極的な書架案内や資料案内を行うなど、市民と職員が向かい合う人と人とのサービスを充実することで、利用促進を図る。</li> <li>平成27年度の実利用者率25%をめざす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児対象のおはなし会から成人読書会や大人のためのおはなし会など、年齢層を意識した各種行事や図書館来館のきっかけづくりとしてのミニコンサートを開催した。</li> <li>新たな取り組みとして「はたちのつどい」で配布する新成人向けパンフレットに図書館利用の特典を盛り込むことにより、20代の利用促進を図った。</li> <li>図書館のイベント情報やお知らせ、新たに図書館が購入した図書情報などを掲載した「図書館だより・新着図書案内」の発行やホームページを通じた情報発信を行った。</li> <li>子ども向け図書館利用案内を市立小学校全校の新1年生に配布するとともに、<u>新中学1年生に向けた利用案内を新たに作成した。</u>(配布はH26.4月)</li> <li>「高校生向けのおすすめ本リスト」を作成し、市内公私立高等学校や図書館カウンターで配布した。</li> <li>中央図書館及び各分館に「ティーンズコーナー」を設置した。「中学生の調べ学習コンクール」の開催など中学生への利用促進のための取組を行った。</li> <li>市民と職員が向かい合う人と人とのサービスの充実を図るため、開架フロアでの積極的な書架案内や資料案内を行った。</li> <li>実利用者は76,661人、実利用者率は18.8%と前年度より0.6%の減少となった。(うち未成年者の図書館利用者の割合は25.1%)</li> <li>貸出冊数は3,737,454点で前年度比4.5%減。</li> </ul>	○	
	1-2	子ども読書活動の推進(学校図書館等との連携)	① 枚方市子ども読書活動推進計画(第2次)を策定する。	・枚方市子ども読書活動推進計画(第2次)を策定する。	・「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」を策定した。	◎(H24)	
			② 各種イベントの継続によって、乳幼児・児童から中学生を中心とするヤングアダルト(YA)(★注2)層までの子どもたちが読書に親しみ、読書を楽しめる環境づくりを推進する。	・「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」の進捗管理表(別紙)に基づき、図書館としての取組を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」(進捗管理表)の平成25年度実績のとおり。</li> <li>乳幼児対象のおはなし会を実施するとともに、中学生の読書推進に重点的に取り組んだ。</li> <li>中央図書館4階、7分館に「ティーンズコーナー」を増設し、計画的に蔵書整備を進め、ヤングアダルト図書1,633冊を新たに購入した。</li> <li>「高校生向けのおすすめ本リスト」をはじめ作成・配布し、中学生の読書環境づくりに努めた。</li> <li>昨年度作成した「中学生向けのおすすめ本リスト」から3人の著者を呼び、<u>子ども夢基金を活用した「いのちのメッセージ～中学生の課外授業」を実施し、幅広い層の参加を得た。</u></li> </ul>	○	・子ども夢基金を活用して「ふしぎな花とひかる虫展」「世界のバリアフリー絵本展2013」を開催する。
			③ 中央図書館2階のこどものフロアの開館時間を午後7時まで延長する。	・枚方市立図書館条例施行規則の改正を行う。 ・中央図書館2階のこどものフロアの午後7時まで開館を実施する。	・平成24年4月1日からこどもフロアの開館時間を午後7時まで延長した。時間延長した午後5時から7時まででは、利便性の向上により子どもの本に携わるボランティア、保護者や幼児教育関係者などの利用が増えた。	◎(H24)	
			④ 学校図書館への技術的・実務的支援を行うなど、市立図書館と学校図書館の連携を推進する。	・「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」の進捗管理表(別紙)に基づき、図書館としての取組を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」(進捗管理表)の平成25年度実績のとおり。</li> <li>学校図書館への図書の貸出や学校訪問お話し会を実施した。</li> <li>学校図書館への団体貸出冊数(幼稚園含む)7,918冊(昨年度比10.9%増)</li> <li>教育指導課とも協議をすすめ、<u>平成26年度からの学校図書館への支援について検討を行った。</u></li> </ul>	○	・学校図書館支援のための専任グループ設置 ・学校図書館への学校司書の派遣 ・市立図書館と学校を結ぶ学校巡回便の試行運行
			⑤ 子ども読書活動を支援するボランティアや団体の育成に努める。	・「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」の進捗管理表(別紙)に基づき、図書館としての取組を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」(進捗管理表)の平成25年度実績のとおり。</li> <li>初心者を対象とした講座のほか、現在活動中の読書ボランティア対象に「わらべ歌」や「児童文学」をテーマにスキルアップ講座を開催した。(2回、100人参加)</li> </ul>	○	
	1-3	成人サービスの充実	① 図書や雑誌、オーディオビジュアル資料、商用オンラインデータベース(★注3)などの幅広い情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人利用者向けの図書や雑誌、オーディオビジュアル資料の充実を図る。オーディオビジュアル資料については、受賞経歴、歴史的評価、その他映画・音源資料の価値に留意しつつ、評価の定まったものを中心に市民の需要も考慮しながら収集する。</li> <li>商用オンラインデータベース等電子情報の提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人の利用促進に向けて、教養・娯楽だけでなく、課題解決のための図書館利用も意識した、図書や雑誌、オーディオビジュアル資料、商用オンラインデータベースなど、幅広い情報の提供を行った。</li> <li>成人向け資料の貸出総点数は、2,799,305点(昨年度費4.7%減)(うちオーディオビジュアル資料の貸出数は、ビデオ6,556点、DVD48,918点、CD33,919点)</li> <li>映像DVDは90点、音楽CDは178点を購入した。</li> </ul>	○	
			② 読書会・講演会など成人向け図書館文化活動を実施し、成人利用の増進を図る。	・成人利用者向けの読書会や行事を実施する。	・成人向け行事の延べ参加者数は861人(昨年度比6.1%減)。(うち成人読書会は6分室において延べ74回延べ参加人数は350人、バリアフリー映画上映会1回55人、手話ブックトーク3回30人)	○	
	1-4	高齢者のサービス	① 高齢者の生涯学習や生きがいがいづくりにつながる高齢者向けの図書等を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の関心が高い資料を収集し、特集を組む。</li> <li>高齢者の関心が高いテーマのブックリストを作成・配布するとともにホームページでも公開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大活字本を158点購入。</li> <li>高齢者に関心のある、健康、運動、介護等のテーマで図書を集め、特集を行った。</li> <li>元気な高齢者をテーマにした図書のブックリストを作成し、いきがい創造学園の事業開催時に配布した。</li> </ul>	○	
	図統2 書館に図書を収集し、資料を計画的に画一的・系統的に収集し、資料を計画的かつ系統的に収集するだけでなく、蔵書の特色づくりを推進し、魅力ある蔵書の構築と図書館資料の充実を図る。	2-1	図書館資料の充実	① 枚方市立図書館蔵書計画及び資料選書基準等を策定し、図書館資料を計画的かつ系統的に収集するだけでなく、蔵書の特色づくりを推進し、魅力ある蔵書の構築と図書館資料の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料選書基準等を含めた枚方市立図書館蔵書計画を策定する。</li> <li>図書館資料の計画的・系統的な収集と蔵書の特色づくりの推進のため、成人選書会議、児童選書会議、リクエスト会議などを開催し選書を行う。</li> <li>魅力ある蔵書の構築のため、資料収集とともに蔵書メンテナンスを継続的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料収集にあたっては、枚方市立図書館蔵書計画(平成23年度に策定)に基づき、各図書館の蔵書の現状や蔵書バランス、利用者ニーズ等を踏まえて、各図書館で1次選書を行った上で、中央図書館での選書会議において全館の蔵書バランス等に配慮した選書を行うなど、職員の専門的な知識・経験を生かした選書を実施した。</li> <li>蔵書の利用頻度や発刊年、書棚の並び状況等を定期的に調査し、より利用の見込めるものや新刊との入れ替えを行った。</li> <li>一般書の蔵書冊数は900,216冊。(うち平成25年度の購入冊数は26,758冊(昨年度比0.3%増))</li> <li>児童書の蔵書冊数は356,025冊。(うち平成25年度の購入冊数は10,173冊(昨年度比15.2%増))</li> <li>オーディオビジュアル資料の所蔵点数は、10,041点。(うち平成25年度の購入点数は316点(昨年度比18.9%減))</li> <li>合計1,266,282冊所蔵。(うち平成25年度の購入冊数は36,931冊(昨年度比2.9%増))</li> </ul>	○

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向	平成27年度末までの取組内容	平成25年度の実績	進捗状況の評価	平成26年度の取組予定(継続的な取組は除く)
え系2 図的図 書に書 館取集 めし未 来画的 伝	2-2	築枚 と方 専地 門域 的コ レク ショ ン	① 枚方について書かれた資料、枚方が登場する資料、枚方に縁のある資料など、枚方に関する資料を幅広く収集し、「枚方地域コレクション」を構築する。	・枚方市立図書館蔵書計画等に基づき、枚方地域コレクションを収集する。 ・枚方地域コレクションの公開基準を定めそれに基づき公開する。 ・地域行政・郷土資料・枚方関連の新聞記事のPDF(★注4)化を実施し、レファレンスに活用する。	・蔵書の中から「枚方地域コレクション」を検索しやすくするためのデータ入力や内容情報の追加入力により、書誌データの整備を行い、市民が当該資料を検索できるシステムの構築を行った。 ・蔵書冊数は24,429冊。(うち平成25年度の収集冊数は1,399冊(昨年度比22.0%増))	○	
			② 枚方地域コレクションに関する簡単な質問から専門的なレファレンス(調べもの相談)に至るまで幅広く対応する。	・市史資料室と連携し枚方地域コレクションに関するレファレンスサービスを実施する。 ・枚方地域コレクションに関するレファレンス事例を蓄積し、パスファインダー(★注5)を作成し図書館に設置するとともに図書館ホームページ上で公開する。	・市史資料室と連携し、枚方地域コレクションに関する資料の調査を行い計画的に資料の収集をするとともに、地名の由来、地質調査報告など専門的な情報に関するレファレンスサービスを行った。 ・市史資料室における市民等からの来室・電話等による市史等に係る問い合わせの件数は308件(昨年度比8.8%減)	○	
3 市民の ニーズ に 応 え て、 役 に 立 つ 図 書 館 を め ざ し ま す	3-1	ビム イン の充 た 推 実 進 や ネ ッ ク ト エ ス 約 シ ス テ ム	① インターネット予約システムの利便性を高める工夫を行い、利用を促進する。	・インターネット予約システムを、複数の資料をまとめて予約できる「カート方式」や、シリーズものをまとめて予約し順次貸出を受けることができる「セット予約」に対応できるよう改良し、利便性を向上させる。	・平成23年度にシステムを改良し、「カート方式」や「セット予約方式」ができるようになり、利用者の利便性が向上した。 ・平成25年度のインターネット経由の予約件数は、565,063件(全体の予約件数の73.4%)	◎ (H23)	
			② リクエストは、市外図書館等との相互貸借(★注6)等を通じて、可能な限り対応する。 ※予約：特定の図書館蔵書を取り置くよう希望を出すこと ※リクエスト：図書館未所蔵の資料の提供を求めること	・市民からリクエストのある資料については、公共図書館間の相互貸借により可能な限り応える。	・相互貸借を基本に可能な限りリクエストに対応した。 ・市外図書館からの圖書の借受冊数は全館合計5,240冊(昨年度比31.1%減) ・予約・リクエスト受付件数は全館合計770,304件(昨年度比2.8%減)	○	
	3-2	のス レ フ 充 実 調 ア ベ レ ン 物 相 談 サ ー ビ ス	① レファレンスサービス・読書相談機能の積極的な利用を働きかける。	・市民の求めに応じ、学習・研究・調査等に必要な資料や情報の検索援助、資料の提供、読書相談などを行うとともに、カウンター等の表示や利用案内、ホームページ等でサービスの周知に努める。 ・レファレンス協同データベース(★注7)等を活用し、より高度なレファレンスサービスを行う。 ・レファレンス事例集や問い合わせの多いテーマの調べ方案内(パスファインダー)を作成し図書館に設置するとともにホームページで公開する。	・市民の求めに応じ、レファレンス協同データベース等を活用し、学習・研究・調査等に必要な資料や情報の検索援助、資料の提供、読書相談などを行うとともに、窓口カウンターでのPR表示の設置、広報ひらかたやFMひらかた等でレファレンスサービスの周知に努めた。 ・パスファインダー(調べ方案内)を作成し、窓口での配布やホームページでの掲示を行うとともに、レファレンス事例の公開を行った。	○	
3-3	サ 情 報 通 信 機 器 の 充 実 活 用 し た	① 商用オンラインデータベースなどの情報通信機器を生かしたサービスの提供を推進する。	・インターネット端末の利用を促進する。 ・商用オンラインデータベースをホームページや「図書館だより」などで使い方も含めたPRを行い、利用促進を図る。	・商用オンラインデータベース(レクシス・アズ・ワン[日本法総合データベース]、日経テレコン21、官報情報検索サービス)及び利用者用インターネット端末を利用に供した。 ・商用オンラインデータベース用端末を含むインターネット端末の利用件数は延べ6,961人(昨年度比1.9%増)	○		
		② 電子書籍の動向について積極的に調査研究を行う。	・電子書籍に関する情報収集を行うとともに、電子書籍の貸出サービスを導入した公共図書館の動向、並びに図書館での貸出にあたり必要となる電子書籍の著作権処理等に関する調査研究を行う。 ・市立図書館に導入することを想定した場合の電子書籍の範囲、必要なコンピュータシステム等について検討する。	・電子書籍については現在も規格等に統一性がないことから、提供業者ごとに利用できる端末が限定される状況であるため、電子書籍の貸出サービスを導入している公共図書館の動向並びに電子書籍に関する情報収集を行った。	○	・市立図書館に導入することを想定した場合の電子書籍の範囲、必要なコンピュータシステム等についての検討を進める。	
4 だ れ も が 使 い や す く、 市 民 と と も に 歩 む 図 書 館 を め ざ し ま す	4-1	障 害 者 ・ 高 齢 者 サ ー ビ ス の 充 実	① 大活字図書、点字・録音資料、手話・字幕付き映像資料を充実する。	・バリアフリー図書(点字資料・大活字資料・デージー(★注8)資料、漫画など)の充実を図る。	・大活字図書の購入、点字資料・録音資料、カセットテープ、デージーの製作、手話・字幕付き映像資料の製作を行い、資料の充実を図った。 ・大活字図書158冊の収集(昨年度比48.4%減)、デージー115タイトル(昨年度比19.8%増)、手話・字幕付き映像資料11タイトル(昨年度と同数)、朗読CD72タイトル収集	○	・LL版(★注9)障害者サービスの利用案内を作成する。
			② 対面読書サービスを引き続き実施する。	・対面読書サービスを継続的に実施し、視覚に障害のある市民への読書活動の推進を図る。 ・サービスを担う音訳協力者の技術向上に向けた研修を実施する。	・中央図書館、香里ヶ丘図書館、楠葉図書館、菅原図書館、蹊跼図書館、山田分室、市駅前サテライトにおいて13人の視覚に障害のある市民が延べ362回(昨年度比3.5%減)対面読書サービスを受けた。 ・音訳協力者を対象としたフォローアップ学習会を全9回、延べ104人に、ボイストレーニングを3回、延べ39人に、音訳者パソコン録音学習会を1回、10人に研修を実施した。	○	
			③ 手話で楽しむおはなし会などのバリアフリー行事を引き続き実施する。	・「バリアフリー映画上映会」「手話で楽しむおはなし会」「手話ブックトーク」を実施し、聴覚に障害のある市民への読書活動推進および聴覚障害に対する理解促進を図る。	・「バリアフリー映画上映会」「手話で楽しむおはなし会」「手話ブックトーク」を実施した。 ・手話で楽しむおはなし会等のイベントを計16回実施した(参加人数は延べ336人：昨年度比20%減)	○	
			④ 図書館利用が困難な障害者・高齢者等への宅配サービスについて調査研究を進める。	・障害者向けの宅配サービス導入の可能性及び民間事業者を活用した宅配サービス導入の可能性について検討を行う。	・宅配サービス実施のための課題整理を行い、条件整備を行った。(実施は平成26年度)	○	・送料自己負担の一般利用者と軽減又は免除の障害者に区分し、宅配サービスの開始
4-2	反 図 書 館 活 動 へ の 市 民 参 加 と 市 民 意 見 の	① 図書館ボランティアの活動を一層発展させるとともに、ボランティアが幅広く自主的に活動できるシステムづくりを進める。	・図書館ボランティアに対して活動内容ごとの研修を実施し、スキルアップを図る。 ・ボランティアの活動内容別のグループ化に向け、協議・調整を行う。 ・各グループごとの活動を中心にボランティア同士が交流を図りながら中央図書館でのボランティア活動を行う。	・中央図書館ボランティア(107人)は、4つの活動内容別(書架整理・事業支援、おはなし会、図書整理、資料整理)のグループで活動を継続した。 ・書架整理や修理についての講習会を実施しスキルアップを図った。 ・分館では読み聞かせボランティア養成講座や行事に協力を求めた。	○		
		② 市民や学識経験者などで構成された外部委員会から意見を聞く。	・図書館運営に第三者の意見を反映させるため、外部委員会として枚方市社会教育委員会議で意見聴取を行う。	・社会教育委員会議を4回開催し、第2次グランドビジョンの進捗状況について、意見を伺った。	○		
		③ ご意見箱を置くなど積極的な市民意見の収集に努める。	・図書館利用アンケートの実施、中央図書館・市駅前サテライトへのご意見箱の設置、市長への提言等を活用し、市民意見の収集に努める。	・全図書館・分室・自動車文庫にご意見箱を設置するとともに、市長への提言、メールでの意見・問い合わせ等を活用し、市民意見の収集に努めた。 ・市政モニター制度を利用し、図書館サービスに関するアンケート調査を実施した。 ・ご意見箱への意見として、図書館資料、施設・設備、開館時間、自習室、職員の対応などについて61件の意見、「市民の声」として図書館資料充実、開館時間延長、返却ポスト増設などの意見12件が寄せられた。	○		

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向	平成27年度末までの取組内容	平成25年度の実績	進捗状況の評価	平成26年度の取組予定 (継続的な取組は除く)
	4-3	修設図・書館改設館の善備の施設	① 市の市有建築物保全計画の枠組みの中で、必要な施設等の改修を図る。 ② 香里ヶ丘図書館については、バリアフリー化や耐震化の観点から早急に改修・改善を検討する。	・市の市有建築物保全計画の枠組みの中で、必要な施設等の改修を行う。 ・耐震診断を実施する。 ・施設改修の時期及び内容を検討する。 ・必要な改修工事にかかる設計委託を行う。 ・必要な改修工事を行う。	・市有建築設備保全計画の枠組みの中で、楠葉図書館の防水改修、御殿山図書館の給排水改修、香里園分室の屋根及び空調改修、枚方公園分室の空調改修工事を実施した。 ・平成24年度に耐震診断を実施し、耐震性に問題がないことを確認した。	○ ○	・休館を伴う工事（楠葉図書館の空調・昇降機改修、牧野図書館の給排水改修）など ・寄贈予定の美術館建設を契機に、教育文化ゾーンとして、香里ヶ丘図書館の建替を検討する。
5 効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします	5-1	効率的効果的な運営体制の構築	① 将来を見据え、正職員司書を中核として、多様な任用形態の職員も活用して最適な職員配置の具体化に向けて取り組む。	・多様な任用形態の職員を活用した職員配置を行う。	・多様な任用形態の職員の活用を行った。	○	
			② 中央図書館、地域館、分館、分室の図書館各施設と自動車文庫については、市内全域サービスを基本としながら、最適な役割分担と配置をめざして「選択と集中」を進め、図書館システムの簡素化を図る。	・自動車文庫のステーションの設置場所を見直す。 ・中央図書館、地域館、分館、分室の図書館各施設と自動車文庫それぞれの役割を踏まえ、サービス向上と効率性の観点から管理運営について検討を行う。	・安全確保のため自動車文庫ステーションのうち、路上にあるステーションの移設を地元へ打診を始めるとともに、中央図書館の近くにある利用者が減っているステーションの廃止を検討した。	○	・生涯学習施設と図書館の複合施設について指定管理者制度導入に向けた課題の整理を行う ・自動車文庫については安全面を考慮したステーションの配置、小学校への午前運行、3ステーションの廃止に伴い、運行スケジュールを見直す。
			③ 分室は、サービス圏域や利用状況を踏まえて、施設管理上の安全性やバリアフリーの観点からも、抜本的な再構築を図る。	・サービス圏域や利用状況、施設のバリアフリー状況、全域サービスの観点も踏まえながら、分室の再構築のあり方について検討する。 ・分室の再構築を図る。	・毎月開催している分室会議のメンバーの見直しを行った。	○	・中央図書館、地域館、分館、分室のそれぞれの役割分担の再構築
			④ 中央図書館、地域館、分館、分室の開館時間帯についても、利用状況に即して見直す。	・各施設の時間帯ごとの利用状況の調査を実施する。 ・各施設の開館時間帯の最適化に向けた検討を行う。 ・各施設の開館時間帯の見直しを図る。	・平成24年4月1日からこどもフロアの開館時間を午後7時まで延長した。 ・時間帯ごとの利用状況の調査を行った。	○	・夏季限定で、分室の午前開室試行
	5-2	人材育成の資質の向上と	① 業務の専門性を踏まえた幅広い研修や実習を行い、図書館職員の資質の向上を図るとともに、リーダーシップのとれる人材を育成する。	・図書館業務に関する関係機関が実施する研修会へ職員を参加させるとともに、館内でも職員に対する研修を実施する。 ・その他職員の育成に必要な研修を行う。	・図書館業務に関する研修会等を延べ14人が出張受講した。 ・中央図書館における基本研修、障害者サービス研修、図書の修理研修などに延べ234人（昨年度比20.6%増）が受講した。 ・テーマ研修（人権、公務員倫理、セクシュアルハラスメント防止、メンタルヘルス等）を延べ246人（昨年度比14.4%増）が受講した。 ・階層研修、手話研修、システム研修等の庁内研修のほか、救急救命講習、防火管理者研修等を受講した。 ・サービス向上に必要な職員の力量を高めるために、日常業務の中で役割に応じた研修を行った。	○	
	5-3	適切な蔵書管理	① 図書館資料の適正管理を徹底するため、短期休館による蔵書点検を全館で実施する。	・図書館資料の適正管理を徹底するため、市駅前サテライトを含む全館で短期休館による蔵書点検を実施する。	・各館で、短期の休館による蔵書点検を行った。 ・中央図・分館では毎月設定している整理休館日を、蔵書点検後は開館するなど市民の利用に配慮した。	○	
② 図書館分館にBDS（図書盗難防止装置）を導入するとともに図書館分室への防犯カメラの設置を検討する。			・各分館にBDS（図書盗難防止装置）を設置する。 ・分室への防犯カメラ設置について検討する。	・各分館へのBDS設置は平成23年度に完了。 ・分室への防犯ミラーを、宮之阪・村野・枚方公園・香里園・藤阪・氷室の6分室に設置した。	○		
③ 長期延滞等の悪質なルール違反に対する厳正な措置をとる。			・長期延滞等の利用者に対する貸出制限について検討し、枚方市立図書館条例施行規則の改正を行う。 ・長期延滞者に対する貸出制限を継続する。	・平成24年に長期延滞者に対する貸出制限を開始した。郵送、メールによる督促に併せて、電話、訪問による督促を継続して行った。	◎ (H24)		
	5-4	検報機械など・の情報	① 自動貸出機等図書館サービス用機器について、その機能や費用対効果について研究・検討し、メリットが明らかな機器を積極的に導入する。	・自動貸出機等図書館サービス用機器について、その機能や費用対効果について研究・検討し、メリットが明らかな機器を積極的に導入する。	・現在自動貸出機は中央図書館と市駅前サテライトに設置しているが、予約がある場合や延滞、貸出カードの期限切れ時には使用できないため、実際には限定的な活用となっている。	○	
(総評)							
<p>①図書館利用者層の拡大については、全国的にも貸出数の減少傾向が見られるが、本市では、市民への利用促進のためのPRを行うなど、図書館に対する市民の理解と関心を高め、利用者の拡大を図った結果、全体としては実利用者数（年度中に1回以上図書館で貸出サービスを利用した市民）の割合は0.6%の微減であった。</p> <p>②市立図書館サービスの特色である「子ども読書活動の推進」については、引き続き乳幼児の読書活動推進に取り組むとともに、ヤングアダルト層（中学生）へのサービスの充実にも努めた。また、学校教育部との連携により、平成26年度から開始予定の学校巡回便運行サービスや学校図書館整備への支援体制に関して準備を進めた。</p> <p>③枚方地域コレクションの構築については、市史資料室と連携し、計画的に資料を収集するとともに、専門的な情報に関するレファレンスサービスを行った。また、コレクション検索の利便性を向上させるため、書誌データの整備を行い、市民が当該資料を検索できるシステムの構築を行った。</p> <p>以上のとおり、第2次グランドビジョンで示された具体的事業に取り組み、一定の成果をあげることができた。</p> <p>今後は、平成25年度までの取り組みを引き続き進めていくとともに、</p> <p>①図書館サービスの充実として、有料宅配サービスを実施し、市民の利便性向上を図るとともに、図書館来館のきっかけづくりとなる事業の開催など、図書館の魅力を積極的にアピールし、利用者の拡大を図る。</p> <p>②学校図書館支援として、小中学校に対して、団体貸出用図書の巡回便の運行、市立図書館から学校図書館への職員の派遣、司書教諭等への研修、学校図書館支援ボランティアの育成を行う。</p> <p>③生涯学習施設と図書館の複合施設については、指定管理者制度導入を手段として、運営の効率化を図り、その成果をサービスの拡充につなげるよう具体的な課題の整理を行う。</p>				<p>(注釈)</p> <p>★注1 実利用者率…枚方市の人口に対する、年度中に1回以上枚方市立図書館で貸出サービスを利用した人の割合。</p> <p>★注2 ヤングアダルト（YA）…図書館サービスの対象としてのヤングアダルトは、主に中学生・高校生を指す。</p> <p>★注3 商用オンラインデータベース…ネットワークを経由し遠隔地から利用できる企業などが開発・構築し、販売しているデータベースの総称。</p> <p>★注4 PDF…Portable Document Format の略称で紙に印刷するのと同じ状態のページを保存するファイル形式。</p> <p>★注5 パスファインダー…特定のテーマに関する文献、情報の探し方、調べ方の案内。</p> <p>★注6 相互貸借…図書館利用者の求めに応じて、図書館同士が所蔵している資料を貸し借りすること。</p> <p>★注7 レファレンス協同データベース…国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している、調べ物のためのデータベース</p> <p>★注8 デイジー…視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためのデジタル録音図書の国際標準規格。</p> <p>★注9 LL版…「LL」とはスウェーデン語の「やさしく読める」の意。図や写真を多く使うなどの工夫をして書かれたもの。</p>			